

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態	
情報処理講座Ⅰ	情報システム学科／2年	2026／前期	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
6単位（90時間）	必須		宮崎 克典	
授 業 の 概 要				
基本情報技術者試験の受験対策				
授業終了時の到達目標				
基本情報技術者試験合格				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
Eラーニングで過去問対策をすることが望ましい				
回	テ ー マ	内 容		
1～15	基本情報技術者試験B科目の答練	テキストを使用し基本情報技術者試験B科目の答練を行う		
16～30	基本情報技術者試験A科目B科目の答練	プリントにより基本情報技術者試験A科目B科目の答練		
31～44	基本情報技術者試験過去問	基本情報技術者試験過去問（A科目＋B科目）の答練を行う		
45	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
基本情報技術者パーフェクトラーニング科目A＋B		期末試験 確認テスト 課題・レポート	60.0% 20.0% 20.0%	検定合格を考慮する

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
データベース演習	情報システム学科／2年	2026／前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（60時間）	必須		高橋 勇雄
授 業 の 概 要			
・ SQLの基礎を理解する			
授業終了時の到達目標			
・ SQLを使いコンピュータシステム上でのデータ操作が的確に行うことができる			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する			
回	テ ー マ	内 容	
1	SQLの基礎	予約語、リテラル テーブル構造 テーブル構造とデータ型 プライマリキー制約	
2	DMLについて SELECT文	表内のデータを操作するDMLの概要 SELECT句、FROM句 列の指定方法について	
3	SELECT文	ORDER BY句 並び替えについて	
4～ 5	SELECT文	WHERE句による条件指定 単純条件、複合条件 比較演算子、算術演算子、AND演算子、OR演算子	
6～ 7	SELECT文	WHERE句による条件指定 NOT演算子、IN演算子、BETWEEN演算子、LIKE演算子、ANY演算子 その他の演算子	
8～ 9	SELECT文	集計関数について SUM関数、COUNT関数、MAX関数、MIN関数、AVG関数	
10～ 11	SELECT文	GROUP BY句を使った集計	
12～ 13	SELECT文	副問い合わせ・相関副問い合わせ	
14～ 15	SELECT文	JOIN句を使用した表の結合	
16	INSERT文	行を追加するINSERT文 値のみの指定	

回	テ ー マ	内 容		
17	INSERT文	列と値を指定		
18～ 19	UPDATE文	現在の内容を変更するUPDATE文 WHERE句との組み合わせ		
20	DELETE文	行を削除するDELETE文		
21	MERGE文 REPLACE文	UPDATEとINSERTを同時に行うMERGE文について		
22	DDLについて CREATE TABLE文	DDLとは CREATE TABLE文による新規表作成		
23	CREATE TABLE文	データ型を意識したテーブル作成 制約を付ける		
24	ALTER TABLE文	既存テーブルの構造を変更する		
25	DROP TABLE文	既存テーブルを取り外す		
26	集合演算子 UNION演算子、EXCEPT演算子、MINUS 演算子、INTERSECT演算子	UNION演算子による表の集合 EXCEPT演算子による表の集合 MINUS演算子による表の集合 INTERSECT演算子による表の集合		
27	トランザクションについて	トランザクションとは トランザクションの役割と排他制御		
28	トランザクションについて	トランザクションの開始と終了		
29	確認テスト	確認テストを行い理解度を確認する		
30	まとめ	まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ データベースとSQL		課題・レポート 確認テスト	60.0% 40.0%	

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
ネットワーク演習Ⅱ	情報システム学科／2年	2026／前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（60時間）	必須		川人 宏行
授 業 の 概 要			
【前期でITN、後期でSRWEを実施】			
・デバイス、インターネット、プロトコルなど、イーサネットの基礎も含めたネットワークの要素を学習する。			
・ネットワーク上のデータを接続するためのアーキテクチャ、モデルなどについて理解する。			
・WLANやセキュリティを考慮した中小規模の企業ネットワークをサポートする知識について学習する。			
授業終了時の到達目標			
・IPアドレッシングや基本的なセキュリティを含めたシンプルなLANを構築できるようになる。			
・ルータとスイッチの基本的な設定ができるようになる。			
・基本的なネットワーク構成とトラブルシューティング、脅威の特定などセキュリティ保護ができるようになる。			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
【準備学習】			
次の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する			
回	テ ー マ	内 容	
1～4	今日のネットワーク	最新のネットワーク技術の進歩を学習する	
5～8	基本的なスイッチとエンドデバイスの設定	パスワード、IP アドレッシング、デフォルトゲートウェイパラメータなどの初期設定を、ネットワークスイッチとエンドデバイスに実装する	
9～11	プロトコルとモデル	ネットワークプロトコルにより、デバイスがローカルおよびリモートのネットワークリソースにアクセスする方法について学習する	
12～14	物理層	物理層のプロトコル、サービス、およびネットワークメディアがデータネットワーク間の通信をどのようにサポートしているかについて学習する	
15	記数法	10進法、2進法、および16進法の間で数値を計算する	
16～17	データリンク層	データリンク層のメディアアクセス制御がネットワーク間の通信をどのようにサポートするかを学習する	
18～19	イーサネット スイッチング	スイッチドネットワークでイーサネットがどのように動作するかを学習する	
20～21	ネットワーク層	ルータがネットワーク層のプロトコルとサービスを使用して、エンドツーエンド接続を実現する方法について学習する	
22	アドレス解決	ARPとネイバー探索がネットワーク上で通信を有効にする方法を学習する	
23	ルータの基本設定	ルータとエンドデバイスに初期設定を行う	
24～27	IPv4アドレッシング	IPv4サブネット方式を計算して、ネットワークを効率的にセグメント化する	

回	テ ー マ	内 容		
28～ 30	IPv6アドレッシング	IPv6アドレッシング方式を実装する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Ciscoネットワークアカデミー Web教材		確認テスト 課題・レポート 実習・実技評価	20.0% 40.0% 40.0%	

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
モバイルアプリケーション	情報システム学科／2年	2026／前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（60時間）	必須		松崎 友亮
授 業 の 概 要			
1. Androidアプリ開発するための環境構築 2. ビューとアクティビティ（ライフサイクル） 3. イベントとリスナ 4. 画面の詳細なレイアウト（フラグメント含む） 5. データベースへのアクセス 6. インターネットから外部データ取得（API連携） 7. 各機能の連携			
授業終了時の到達目標			
1. Androidネイティブアプリの環境構築 2. グループで作成するアプリのプロジェクト作成と管理方法の習得 3. グループでアプリを作成（アプリの詳細説明）			
実務経験有無	実務経験内容		
有	システムエンジニア職として8年間勤務 社会人経験を活かし、学生のロールモデルとなるように授業展開する		
時間外に必要な学修			
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する			
回	テ ー マ	内 容	
1～2	リストボックスの制御 トーストの使い方	今回から、リストデータを扱うが、リストへのデータセット 選択時のデータ取得方法と取得データからのトースト表示	
3	リストボックスの制御 リストデータの並び替え ダイアログの制御	リストデータのデータセットの理解 リストデータのクリックイベント処理制御 ダイアログの作成方法の理解 リストデータの順番の制御	
4	デザインモードでの画面イメージ作成	デザインモードで画面レイアウトを作成して XMLの設定ができるようにする	
5～6	デザインモードでの画面イメージ作成	デザインモードで画面レイアウトを作成して XMLの設定ができるようにする	
7	画面遷移とIntentクラス	SimpleAdapter使ってリストに2行表示	
8	画面遷移とIntentクラス	多重画面での画面遷移実装	
9～10	チーム別プロジェクト会議Ⅱ	アプリ作するための調査と資料作成	
11～12	チーム別プロジェクト会議Ⅱ	アプリ作するための調査と資料作成	
13～14	リストビューのカスタマイズ	7章までしていた画面をカスタマイズ	

回	テ ー マ	内 容		
15	リストビューのカスタマイズ 各メニューの表示追加	リストカスタマイズ intentでの数字を渡す方法 戻る、コンテキストメニューの実装		
16～ 17	リストビューのカスタマイズ 各メニューの表示追加	リストカスタマイズ intentでの数字を渡す方法 戻る、コンテキストメニューの実装		
18	リストビューのカスタマイズ 各メニューの表示追加	リストカスタマイズ intentでの数字を渡す方法 戻る、コンテキストメニューの実装		
19～ 20	フラグメント	大きい画面への対応		
21	フラグメント	大きい画面への対応		
22～ 23	先生からの9章までのまとめた課題	9章までの画面遷移伴うintentなどの復習と 新機能の実装の調べ方		
24	先生からの9章までのまとめた課題	9章までの画面遷移伴うintentなどの復習と 新機能の実装の調べ方		
25～ 26	実習（制作物の準備、先生からの課題の復習）	基本実習として、課題の準備		
27～ 28	発表のための成果物の制作と準備	制作と資料の準備		
29～ 30	最終の制作したアプリの発表	4人チームで開発してきた内容をチームで発表してもらう		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
基礎&応用をしっかりと育成！Androidアプリ開発の教科書 なんちゃって開発者にならないためのハンズオン		課題・レポート 実習・実技評価	40.0% 60.0%	

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
Webアプリケーション演習 I	情報システム学科／2年	2026／前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
3単位（90時間）	必須		松崎 友亮
授 業 の 概 要			
PHP8を使ったWebアプリケーション作成の基本的な作成手順、及び問題解決方法の提示。 採点の際は期末に課題を自由課題として提出し、そのコード処理についての説明を求める。			
授業終了時の到達目標			
PHPとDBを用いたWebアプリケーションの作成。 「書いた・動いた」から続く、プログラミングの開発の流れを理解。			
実務経験有無	実務経験内容		
有	松崎 友克：システム開発経験8年、Webアプリ開発経験6年 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修			
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する			
回	テ ー マ	内 容	
1～6	各自の開発環境を構築と、時間があればPART3までを目処にすすめる。	各自の開発環境の構築、及び教科書のPART3の説明と打ち込み。	
7～12	教科書の打ち込み確認	基本的な仕組みを理解した上での応用とその実行。 データの授受やMysqlの基本的な利用方法	
13～18	授業での手応えの確認及び、PART4までの進行補助	おさらいと確認、終わってない人がほとんどだと思うので、じっくり。 打ち込むのが遅い人はある程度打ち込んでみて、無理そうなら参考サイトからの引用でも可。	
19～21	セキュリティやログインの実装について	セッションとクッキー セキュリティ対策や攻撃手法について	

回	テ ー マ	内 容		
22～ 45	最終課題 1. 期限までに自作課題の作成と提出。作成するのは大規模システムの基盤でもログインでもおみくじでも。 2. 提出の際には、以下のルールで採点を行う。 持ち点80を得る。 講師より提出したソースコードや処理に関する質問（ソースコードから出せない場合はその他基礎的な質問）を行い、5問連続正しく答えられたらで持ち点を最終授業点に加算する。 間違えると5点減点し、1問目からとなる。1問目は必ず「何を考えてこの作品を作ったか」で、間違えた時は「間違えた問題に対する解説を行った後、間違えた問題が1問目となる」	自分が考えるなにかを作成し仕上げる。 それについて質問されても答えられる程度に理解度を高めよう。 完成し、採点が終わった人から自由時間。採点は一人ずつ行う為に時間がかかるので、早めの提出を期待。 終わった人は開発するも、就職活動準備も、自習するも自由です。 作りたい物があれば質問にはいつでも答えます。（採点中や他の人の質問の途中等でなければ）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
詳細！ PHP 8 + MySQL 入門ノート XAMPP+MAMP 対応		実習・実技評価 課題・レポート	20.0% 80.0%	

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
AIプログラミングⅠ	情報システム学科／2年	2026／前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（60時間）	必須		中原 生恵
授 業 の 概 要			
1. Pythonの基礎知識について 2. ノンプログラマーについて理解 3. ビッグデータの利用と学習 4. フローチャートの作成 5. Pythonを使ったツール作成			
授業終了時の到達目標			
1. Pythonの基礎知識の理解 2. 生成AIを使ったプログラムの実装 3. ビッグデータの活用ができる（呼び出しプログラムを使った統計等） 4. Pythonを使ったツールの作成ができる事			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
回	テ ー マ	内 容	
1	環境構築	授業に必要なデータのダウンロードと1年生で習ったアルゴリズムの復習	
2～3	Pythonについて	Pythonの基本について（関数の呼び出しなど）	
4～5	プログラムの基本	if・while・for文によるフローの理解 ネスト・t r y文についての学習	
6～7	フロー制御	文字列・リスト・タプル・辞書などの学習	
8～9	データの集合		
10～11	プログラムの部品化	関数・式・クラスについての学習	
12～13	データ収集ツール	Excelを利用したデータの収集	
14～15	レポートの更新	Excelレポートの更新ツールを作成	
16～17	Pythonを動かすインタフェースの作成	出退勤ツールの作成	
18～19	クレイピングツール	概要の理解 HTML通信の実施・解析	
20～21	ブラウザを操作してクレイピングを実施	ブラウザ操作	
22～28	制作授業	テーマを決めてツールの作成を実施	

回	テ ー マ	内 容		
29	確認テスト	確認テスト		
30	課題提出	課題提出		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ Pythonプログラミング完全入門 ・ 他 (Python 1 年生、他)		確認テスト 課題・レポート 実習・実技評価	40.0% 40.0% 20.0%	

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態	
情報処理講座Ⅱ	情報システム学科／2年	2026／後期	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
6単位（90時間）	必須		宮崎 克典	
授 業 の 概 要				
応用情報技術者試験の受験対策				
授業終了時の到達目標				
応用情報技術者試験合格				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
Eラーニングで過去問対策をすることが望ましい				
回	テ ー マ	内 容		
1～15	応用情報技術者試験A科目の答練	テキストを使用し応用情報技術者試験A科目の答練を行う		
16～30	応用情報技術者試験A科目B科目の答練	プリントにより応用情報技術者試験A科目B科目の答練		
31～44	応用情報技術者試験過去問	応用情報技術者試験過去問(A科目＋B科目)の答練を行う		
45	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
応用情報技術者パーフェクトラーニング科目A＋B		期末試験 確認テスト 課題・レポート	60.0% 20.0% 20.0%	検定合格を考慮する

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
ネットワーク演習Ⅲ	情報システム学科／2年	2026／後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
3単位（90時間）	必須		川人 宏行
授 業 の 概 要			
【前期でITN、後期でSRWEを実施】			
・ デバイス、インターネット、プロトコルなど、イーサネットの基礎も含めたネットワークの要素を学習する。			
・ ネットワーク上のデータを接続するためのアーキテクチャ、モデルなどについて理解する。			
・ WLANやセキュリティを考慮した中小規模の企業ネットワークをサポートする知識について学習する。			
授業終了時の到達目標			
・ IPアドレッシングや基本的なセキュリティを含めたシンプルなLANを構築できるようになる。			
・ ルータとスイッチの基本的な設定ができるようになる。			
・ 基本的なネットワーク構成とトラブルシューティング、脅威の特定などセキュリティ保護ができるようになる。			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
【準備学習】			
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する			
回	テ ー マ	内 容	
1～3	デバイスの基本設定	セキュリティのベストプラクティスを使用してデバイスを設定する	
4～6	スイッチングの概念	レイヤ2スイッチによるデータの転送方法を学習する	
7～9	VLAN	スイッチネットワークにVLANとトランキングを実装する	
10～11	VLAN間ルーティング	レイヤ3デバイスでのVLAN間ルーティングのトラブルシューティングを行う	
12～13	STP	STPがレイヤ2ネットワークで冗長性をどのように可能にするかを学習する	
14～15	EtherChannel	スイッチリンクのEtherChannelのトラブルシューティング	
16～17	DHCPv4	DHCPv4を実装して、複数のLANで動作させる	
18～19	SLAACおよびDHCPv6の概念	IPv6ネットワークでの動的アドレス割り当てを設定する	
20	FHRPの概念	FHRPが冗長ネットワークでデフォルトゲートウェイサービスを提供する方法を学習する	
21～23	LANセキュリティの概念	脆弱性がどのようにLANセキュリティを侵害するかを説明する	
24～26	スイッチのセキュリティ設定	スイッチのセキュリティを設定して、LANへの攻撃を軽減する	
27～30	WLANの概念	WLAN がどのようにネットワーク接続を有効にするかを学習する	

回	テ ー マ	内 容		
31～ 32	WLANの設定	ワイヤレスルータとWLCを使用してWLANを実装する		
33～ 35	CCNA R&S:Connecting Networks 総復習	現在までの部分の総復習		
36～ 38	ルーティングの概念	ルータがパケット内の情報をどのように使用して転送を決定するかを学習する		
39	スタティックルートとデフォルト ルートのトラブルシューティング	スタティックルート設定とデフォルトルート設定のトラブルシューティングする		
40～ 43	IPスタティックルーティング	IPv4及びIPv6 のスタティック ルートを設定する		
44～ 45	後期学習内容の復習	後期学習内容の復習と解説 後期末試験対策の自己学習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Ciscoネットワークアカデミー Web教材		実習・実技評価 課題・レポート 期末試験	20.0% 40.0% 40.0%	

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
Webアプリケーション演習Ⅱ	情報システム学科／2年	2026／後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（60時間）	必須		松崎 友亮
授 業 の 概 要			
Linuxサーバの構築			
授業終了時の到達目標			
Linuxの基本コマンドを習得する 目的に応じたサーバー構築が出来る知識を習得する			
実務経験有無	実務経験内容		
有	松崎 友克：システム開発経験8年、Webアプリ開発経験5年 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修			
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する			
回	テ ー マ	内 容	
1～ 7	CentOSの導入と基本操作	Chapter1 基礎知識 Chapter2 インストールとバージョンアップ Chapter3 初期設定 Chapter4 システムの起動と停止 Chapter5 基本操作	
8～ 17	運用管理と仮想化	Chapter6 ディスクとファイルシステムの管理 Chapter7 高度なストレージとデバイスの管理 Chapter8 運用管理 Chapter9 システムサービスの管理 Chapter10 ネットワーク Chapter11 仮想化技術	
18～ 24	サーバの導入と設定	Chapter12 ネットワークモデル Chapter13 外部/内部向けサーバ構築 Chapter14 内部向けサーバ構築	
25～ 30	セキュリティ技術と対策ツール	Chapter15 セキュリティ対策	
教科書・教材		評価基準	評価率
標準テキスト CentOS 8 構築・運用・管理 パーフェクトガイド [CentOS Stream対応]		課題・レポート 実習・実技評価	70.0% 30.0%
			その他

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
AIプログラミングⅡ	情報システム学科／2年	2026／後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（60時間）	必須		中原 生恵
授 業 の 概 要			
1. Pythonの基礎知識について 2. ノンプログラマーについて理解 3. ビッグデータの利用と学習 4. フローチャートの作成 5. Pythonを使ったツール作成			
授業終了時の到達目標			
1. Pythonの基礎知識の理解 2. 生成AIを使ったプログラムの実装 3. ビッグデータの活用ができる（呼び出しプログラムを使った統計等） 4. Pythonを使ったツールの作成ができる事			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
回	テ ー マ	内 容	
1	前期復習	前期で学習したPythonの復習	
2～3	疑似言語	疑似言語の学習（フローチャート・構文問題など）	
4～5	画像加工ツール	画像加工ツールについて 画像加工ツールの作成	
6～7		画像加工ツールについて 画像加工ツールの作成	
8～11	QRコード生成ツール	QRコード生成ツールについて QRコード生成ツールの作成 ※時間があったらQRコードの生成（物理）もやります	
12～13	PDF操作ツール	PDF操作ツールについて ファイルオブジェクトによるファイルの読み書き PDF操作ツールの作成	
14～15	PDF操作ツール	PDF操作ツールについて ファイルオブジェクトによるファイルの読み書き PDF操作ツールの作成	
16～17	ZIPファイルを展開・圧縮するツール	ZIPファイルの展開・圧縮ツールについて ファイル操作の実施について ZIPファイルの展開・圧縮ツールの作成	

回	テ ー マ	内 容		
18～ 19	ZIPファイルを展開・圧縮するツール	Z I Pファイルの展開・圧縮ツールについて ファイル操作の実施について Z I Pファイルの展開・圧縮ツールの作成		
20～ 22	J u p y t e r N o t e b o o kで ノートブックを作成	ノートブックレポート更新ツールの概要・Markdownで文書 作成 集計とグラフの作成・レポート更新ツールの作成		
23	課題テーマの決定と制作	課題制作の実施		
24～ 28	課題制作	課題制作の実施		
29	確認テスト	確認テスト		
30	課題提出	課題提出		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ Pythonプログラミング完全入門 ・ 他 (Python 1 年生、他)		確認テスト 課題・レポート 実習・実技評価	40.0% 40.0% 20.0%	

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
情報デザイン I	情報システム学科／2年	2026／後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位（30時間）	必須		永田 広志
授 業 の 概 要			
・ 情報を収集・整理・再構成し、相手に伝わる形へ設計するための基礎を学ぶ。 ・ グラフィックデザイン、プレゼンテーション、ディベート、動画制作を横断し、情報伝達の実践力を養う。 ・ 個人およびチームによる演習を通して、論理性、表現力、協働力を統合的に身につける。			
授業終了時の到達目標			
・ 目的・対象・状況に応じて情報を整理し、適切な構成と表現で提示できる。 ・ プレゼンテーション、ディベート、動画等の形式を用いて、自らの考えを論理的かつ明快に伝達できる。 ・ チーム課題において役割を果たし、講評や相互評価を踏まえて改善提案ができる。			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
回	テ ー マ	内 容	
1	情報デザイン概論	情報デザインの定義、役割、社会的意義を理解し、授業全体の到達目標を確認する。	
2	情報整理と視覚設計	情報の分類、優先順位、視線誘導、レイアウトの基礎を学び、伝達設計の原理を理解する。	
3	プレゼンテーション設計	プレゼンテーションに必要な構成、論理展開、視覚化の基礎を学ぶ。	
4	ディベート基礎	論題設定、立論、根拠提示、反論の基本を理解し、ディベートのルールを確認する。	
5	ディベート実践	段階的統合ディベートを実施し、主張の明確化、根拠の妥当性、協働的議論を実践する。	
6	「私の趣味」企画構成	「私の趣味」を題材に、対象理解、構成設計、行動喚起を意識した発表企画を立案する。	
7	「私の趣味」資料制作	発表用スライドを制作し、情報の階層化、視認性、役割分担を踏まえて資料を整える。	
8	「私の趣味」発表・相互評価	発表を実施し、相互評価と講評を通して、構成・伝達・表現の改善点を整理する。	
9	「私の趣味」発表・相互評価	発表を実施し、相互評価と講評を通して、構成・伝達・表現の改善点を整理する。	
10	模擬生徒会長選挙 課題導入	模擬生徒会長選挙課題の目的と条件を理解し、候補者設定と訴求点の整理を行う。	
11	模擬生徒会長選挙 企画・ポスター制作	チームで政策と訴求戦略を検討し、ポスターによる視覚的コミュニケーションを設計する。	
12	模擬生徒会長選挙 演説動画制作	CapCut等を用いて演説動画を制作し、構成、画角、音声、テロップ表現を検討する。	
13	模擬生徒会長選挙 上映・生演説・投票	上映・生演説・投票を通して、複数媒体を横断したプレゼンテーションの効果を検証する。	

回	テ ー マ	内 容		
14	東京研修ダイジェスト 動画・発表／総括	上映・生演説・投票を通して、複数媒体を横断したプレゼンテーションの効果を検証する。		
15	東京研修ダイジェスト 動画・発表／総括	上映・生演説・投票を通して、複数媒体を横断したプレゼンテーションの効果を検証する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
授業内配布資料、参考スライド、各種デジタル教材		課題・レポート	100.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅰ		情報システム学科／2年	2026／後期	演習
単位数または時間数		必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位（30時間）		必須		宮崎 克典
授 業 の 概 要				
就職活動も含めながら社会人となるための基礎力を身につける				
授業終了時の到達目標				
1) 3CAN教育（1. 自己効力感 2. 成長実感 3. 学び続ける習慣）により企業が求める人材を育成する 2) 基礎学力、専門知識を将来社会において発揮することができるための汎用的能力の育成 3) 目標を設定し管理することによって、自己成長を実感させ、将来設計ができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		システムエンジニアとして2年間勤務		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえて、テキストを用いて今回の学習内容の復習と予習を行う				
回	テ ー マ		内 容	
1	・ 就職活動の世界を知る ・ 偶然が作る人生		・ 就職活動の目的、目標を考える ・ 今まで出会ってきた偶然	
2	・ ものの見方 ・ 考え方		・ 自分の癖を知る ・ ものの見方を広げる	
3	・ 適性検査		・ 適性検査	
4	・ 記憶からたどる		・ 過去/現在/未来の自分から、自分を分析する	
5	・ 文章の書き方と構成の仕方		・ 文章の書き方について学ぶ ・ テーマに沿った文章を構成する	
6	・ 自己PR作成		・ 自己PR作成	
7	・ 自己PR作成		就職の手引き P13-14 自己PR作成（400字）	
8	・ 企業の見つけ方		各学科での業界研究、説明	
9	・ 履歴書の書き方と伝え方		・ 自身の基本情報、趣味を書き出す	
10	・ 志望動機		・ 志望動機を書く	
11	・ 30問30答		・ 30問30答の作成	
12	・ 履歴書、30問30答、自己PR		・ 履歴書、30問30答、自己PRを完成させる	
13	・ プレゼンの基本と応用		・ 自身の事故PRプレゼンテーションを振り返る	
14	・ 話の聴き方 ・ 面接の基本		・ 話の聴き方、面接の基本を学ぶ	
15	・ オンライン面接・グループディスカッション		・ オンラインでもコミュニケーション方法	

回	テ　　マ	内　　　　容		
		評価基準	評価率	その他
	教科書・教材			
	熱血！森吉弘の就勝ゼミ教材（穴吹学園） 就職の手引き（穴吹学園） 手帳	課題・レポート	100.0%	